取扱説明書

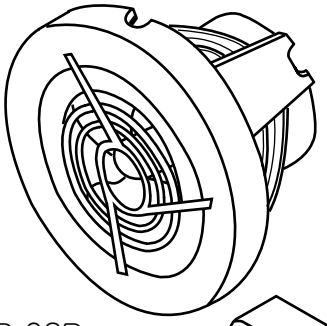
HITACHI
Inspire the Next

日立ダクト用換気扇

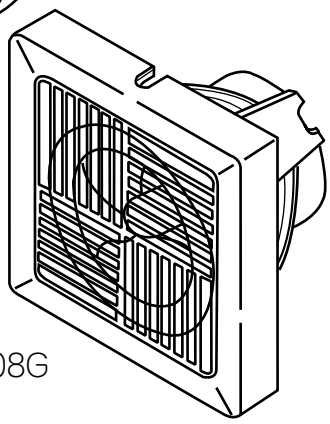
BP-08R$_1$、BP-12RF-BL、BP-08G、BP-12G-BL形

浴室用

このたびは日立ダクト用換気扇をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この換気扇は家庭用です。
業務用や換気以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。



図はBP-08R$_1$



図はBP-08G

（BP-12RF-BL、BP-12G-BLのみ）

もくじ

ページ

安全上のご注意……2
各部のなまえと取り扱いかた……4
取り付けかた……5
優良住宅部品(BL)について……10
お手入れのしかた……11
故障かなと思ったら……12
アフターサービス……12
システム部材……14
仕様……15

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警　告

修理技術者以外は絶対に分解したり、修理・改造しない

- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

お手入れの際は必ず電源を切る

- 感電やけがをすることがあります。

水につけたり、水をかけたりしない

- ショート・感電の恐れがあります。

本体各部に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない

- ショート・感電の恐れがあります。

ガス漏れの恐れがある場合は、換気扇を使用しない

- 爆発・引火の恐れがあります。

⚠ 警　告

アースを確実に取り付ける
- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

交流100V以外では使用しない
- 火災・感電の原因になります。

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付ける
- 漏電した場合、発火することがあります。

内釜しき風呂を設置した浴室では使用しない
- 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

⚠ 注　意

本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
- 落下により、けがをすることがあります。

羽根や部品の取り付けは確実に行う
- 落下によりけがをする恐れがあります。

浴槽内に壁スイッチを設けない
- 感電の恐れがあります。

直接炎があたる恐れのある場所には取り付けない
- 火災の恐れがあります。

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
- 誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
- 配線工事は電気工事業者が行ってください。

本体の取り付けのときは、必ず厚手の手袋などを着用する
- 板金の端などでけがをする恐れがあります。

お手入れの際は厚手の手袋を着用する
- 板金の切口、本体の突起および角などでけがをする恐れがあります。

運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない
- けがの恐れがあります。

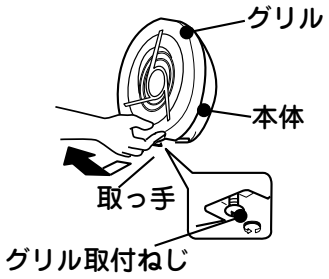
本体に異常な振動が発生した場合使用しないこと
- 本体・部品の落下によりけがをする恐れがあります。

各部のなまえと取り扱いかた

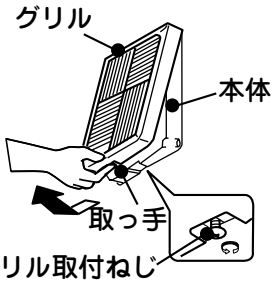
グリルの着脱

●グリル取り付けねじをゆるめ、「取っ手」部を手前に引き、取り外します。

BP-08R1、BP-12RF-BL



BP-08G、BP-12G-BL



使いかた

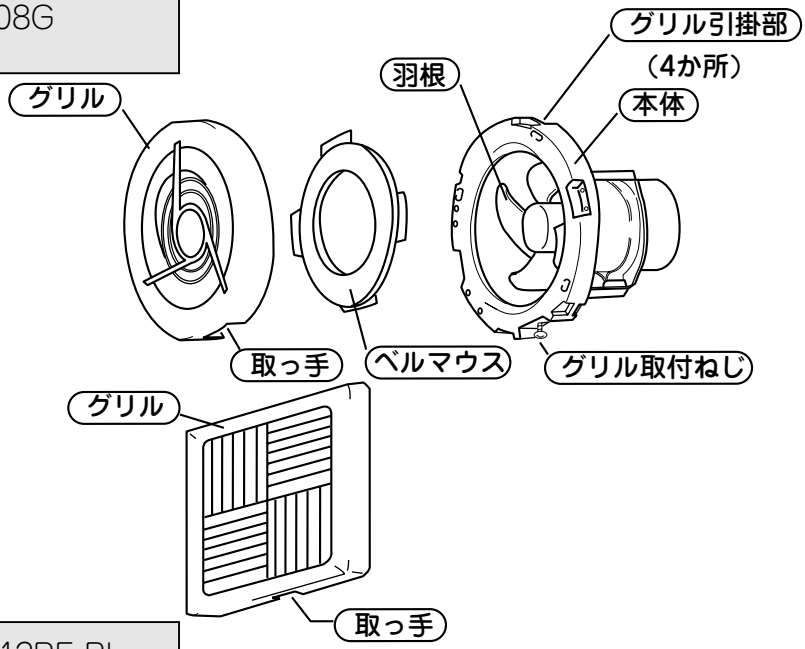
浴室を衛生的に保つことや、換気扇をさびから守り長いご使用いただくために、浴室の使用後も運転して、湿気を十分に絶ってください。

●壁取り付けの電源スイッチで、換気扇の「運転」、「停止」を行います。電源スイッチを入れると羽根が回り、室内の空気を換気します。

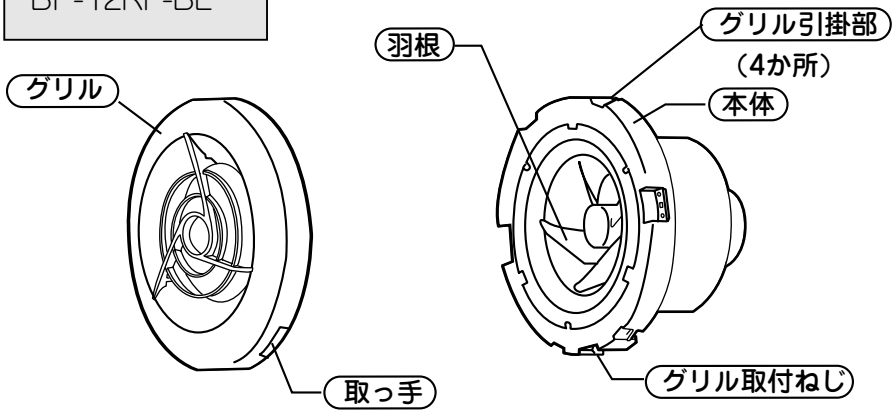
ご注意

入浴のつど必ず換気扇を運転してください。
長い間運転しませんと結露などにより、モーター故障の原因になります。

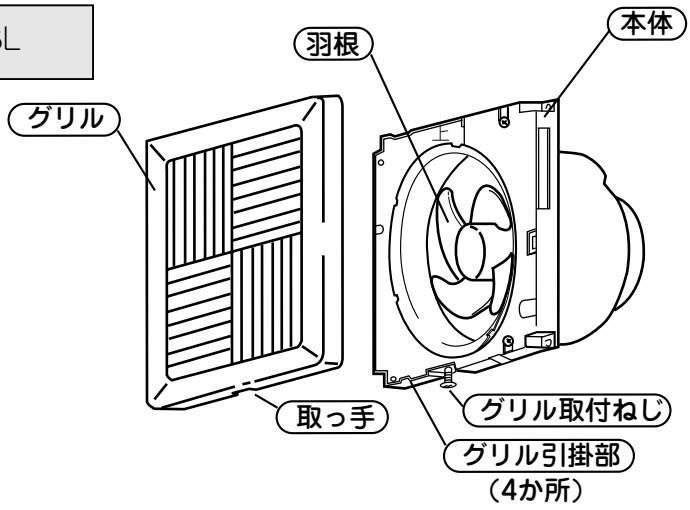
BP-08R1
BP-08G



BP-12RF-BL

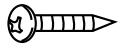


BP-12G-BL



付属品

木ねじ…4本
（φ4×20）

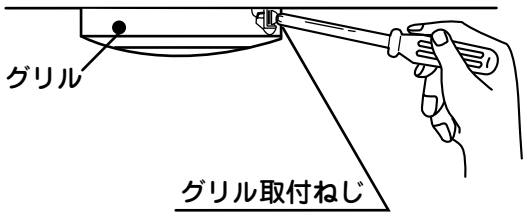


本体取り付け用です。
BP-12G-BLは4本、他は2本使用します。

取り付けかた

ご注意

●**グリルは、本体のグリル引掛部に引っ掛けて固したあと、グリル取付ねじをしっかり締めつけてください。**
不完全ですと落下する恐れがあります。



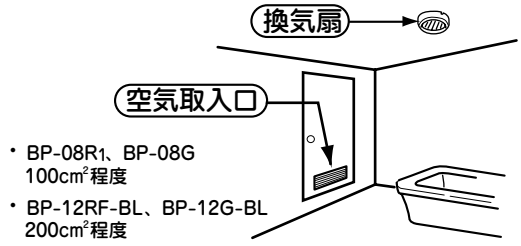
●**40℃を超える場所には取り付けないでください。**
プラスチック部品の変形や故障の原因になります。

●**粉じんなどの多いところ（養鶏所など）には取り付けないでください。**
故障の原因になります。

●**有機溶剤を使用するところには取り付けないでください。**
合成樹脂部品が変色・変形することがあります。

●**アースのほかに漏電遮断機を取り付けてください。**

●**密閉された部屋で使用する場合は効率よく排気するため、下記大きさの空気取入口を換気扇と反対側の位置に設けてください。**



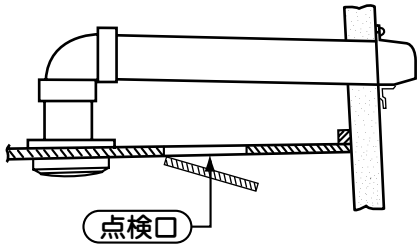
●**天井板は強度があり、共鳴しにくい材料（石こうボード、木毛セメント板など）を使用してください。**
異常音や共鳴音が発生することがあります。

●**地域によっては、ジャバラを使用できない場合がありますので十分ご注意ください。**
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください）

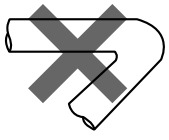
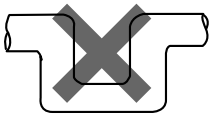
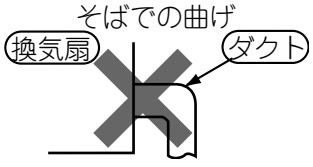
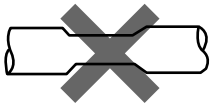
●**電源スイッチは、両切りスイッチをご使用ください。片切りスイッチを使用する場合は電圧側に接続してください。**

●**接続ダクトは室内側に結露水がたれないように屋外側に向いて下りこう配（1°～2°程度）になるようにしてください。**

●**点検口を必ず設けてください。**



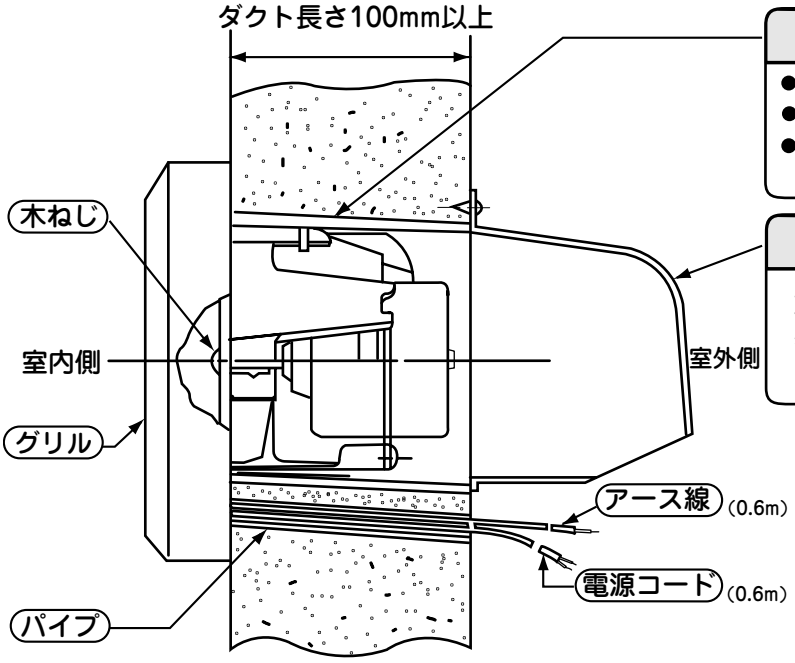
●**次のような配管工事はしないでください。**
風量が減少したり、騒音が高くなる原因になります。

極端な曲げ	多数回の曲げ	排気口のすぐそばでの曲げ	接続ダクト径を小さくする。
			

取り付けかた(続き)

壁面に取り付けの場合

取り付け参考図……BP-08G形を示しています。



取り付けダクト

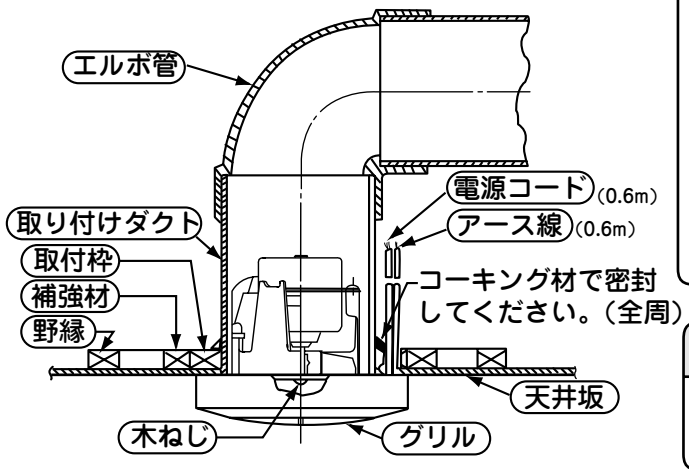
- 壁仕上時にあらかじめ埋め込んでください。
- 雨水の入らないようにシールしてください。
- 雨水がダクトを伝って室内に入らないようにダクトを少し傾斜させてください。

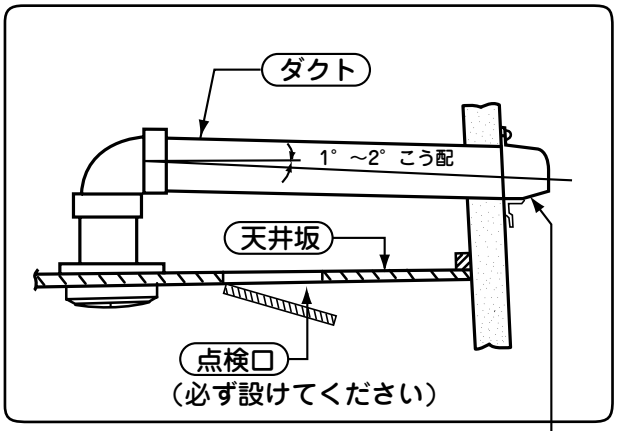
システム部材

取り付け方法により必要になります。→ 14

天井面に取り付けの場合

取り付け参考図……BP-08R1形を示します。





システム部材

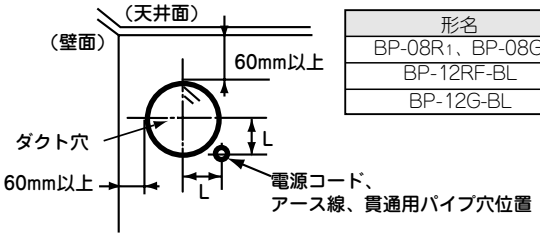
取り付け方法により必要になります。→14

(→ のあとの数字は主な説明のあるページです)

壁面へのダクトおよび電源コード、アース線用パイプ固定

①ダクトおよび電源コード、アース戦貫通用パイプ位置を決めます。

- ダクト穴は、壁面や天井面から60mm以上離してください。
- 電源コード、アース線の壁貫通用穴には、VP管呼び径13(内径13×外径18)のパイプを使用します。



形名	Lmm
BP-08R1、BP-08G	49
BP-12RF-BL	67
BP-12G-BL	75

②ダクトを選びます。

下表からお選びください。

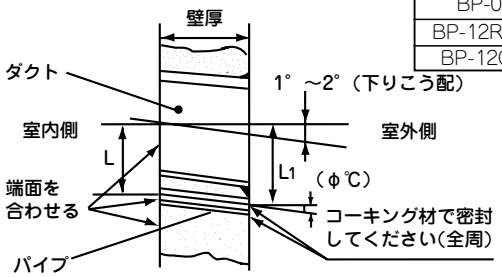
ダクト ＼ 形名		BP-08R1 BP-08G	BP-12RF-BL BP-12G-BL
塩化ビニル管	VU	φ100(内径φ107)	φ150(内径φ154)
	VP	φ100(内径φ100)	φ150(内径φ146)
アルミ製ダクト	呼び径	φ100(内径φ100)	φ150(内径φ150)
鋼板製ダクト			

③壁穴へダクトおよび電源コード、アース線貫通用パイプを取り付けます。

ダクトおよびパイプの外径に合わせて壁に穴をあけ、確実に取り付けます。

- ダクトは、屋外側に1°～2°の下りこう配にしてください。
  - ○屋外側に取り付けるシステム部材に当たらないようにするためです。
- 壁とダクトおよびパイプのすき間から雨が入らないよう建材用コーキングなどでふさいでください。
- 固定が不十分ですと振動したり、異常音を発生する原因になります。

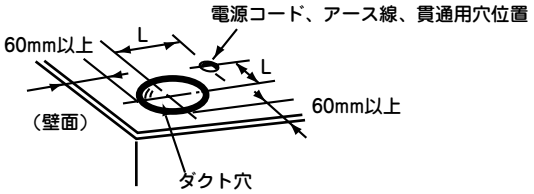
形 名	L	L1	(θ℃)
BP-08R1 BP-08G	49	86	(20°)
BP-12RF-BL	67	114	(25°)
BP-12G-BL	75	121	(25°)



取付枠の取り付けとダクト配管

①ダクトおよび電源コード、アース線貫通用穴位置を決めます。

- ダクト穴は、壁面から60mm以上離してください。



形名	Lmm
BP-08R1、BP-08G	49
BP-12RF-BL	67
BP-12G-BL	75

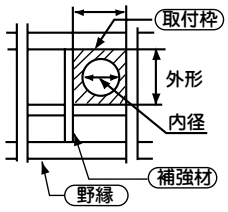
②ダクトを選びます。

下表のものからお選びください。

ダクト ＼ 形名		BP-08R1 BP-08G	BP-12RF-BL BP-12G-BL
塩化ビニル管	VU	φ100(内径φ107)	φ150(内径φ154)
	VP	φ100(内径φ100)	φ150(内径φ146)
アルミ製ダクト	呼び径	φ100(内径φ100)	φ150(内径φ150)
鋼板製ダクト			

③取付枠を取付けます。

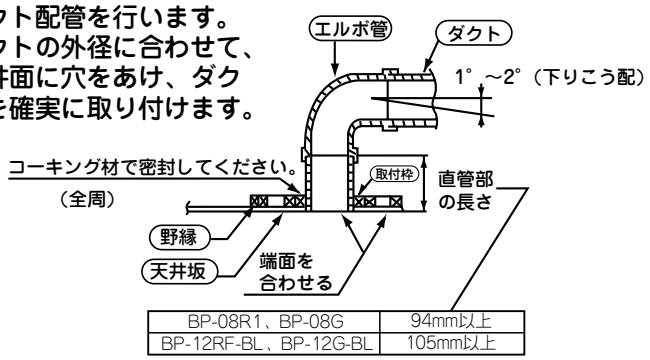
- 製品の重量が十分支えられるように補強材を使っ野縁に固定します。
- 取付枠は、形式に応じて、下表の寸法にしてください。(厚さは、15mm以上)



形 名	外 径	内 径
BP-08R1	160mm角	ダクト外径に合わせ穴をあけてください。
BP-08G		
BP-12RF-BL	210mm角	
BP-12G-BL		

④ダクト配管を行います。

ダクトの外径に合わせて、天井面に穴をあけ、ダクトを確実に取り付けます。



BP-08R1、BP-08G	94mm以上
BP-12RF-BL、BP-12G-BL	105mm以上

⑤電源コード、アース線貫通穴を設けます。

φ13の穴をあけてください。

電源コード：VCT0.75mm²×2心外径φ8.7
アース線：VSF1.25mm²　　外径φ3.2

取り付けかた(続き)

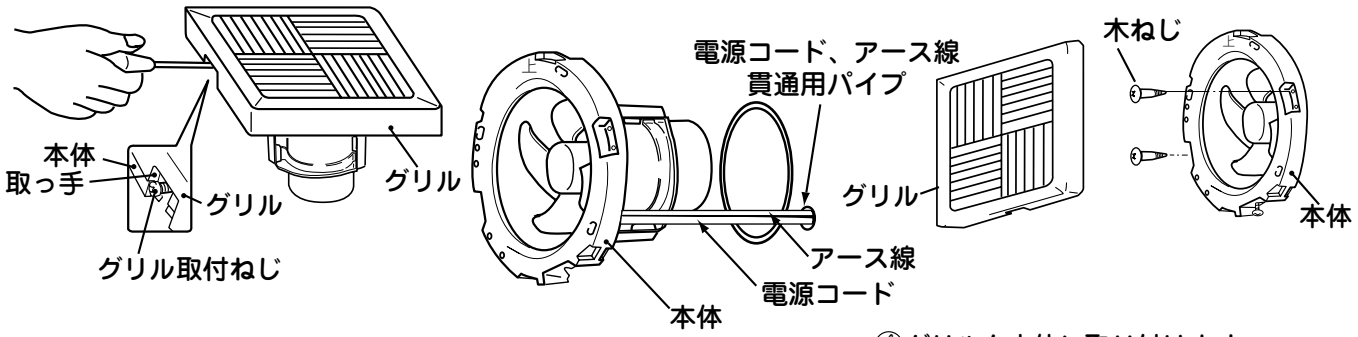
本体の取り付け

①グリルを取り外します。
グリル取付ねじをゆるめ「取っ手」部を手前に引き、取り外します。

②電源コード、アース線を壁面貫通用パイプに押し込みます。
●電源コード、アース線を一緒に押し込んでください。

③本体を壁面に固定します。
本体の上下を確認してダクトに差し込み、付属の木ねじ(2本、BP-12G-BLは4本)で固定します。

ご注意
● 電源コード、アース線を室内側にたるませないでください。



④グリルを本体に取り付けます。
グリルの方向を間違えないように本体に確実にはめ込み、グリル取付ねじを締めつけ固定します。
(①グリルを取り外します。と逆の順序で取り付けます。)

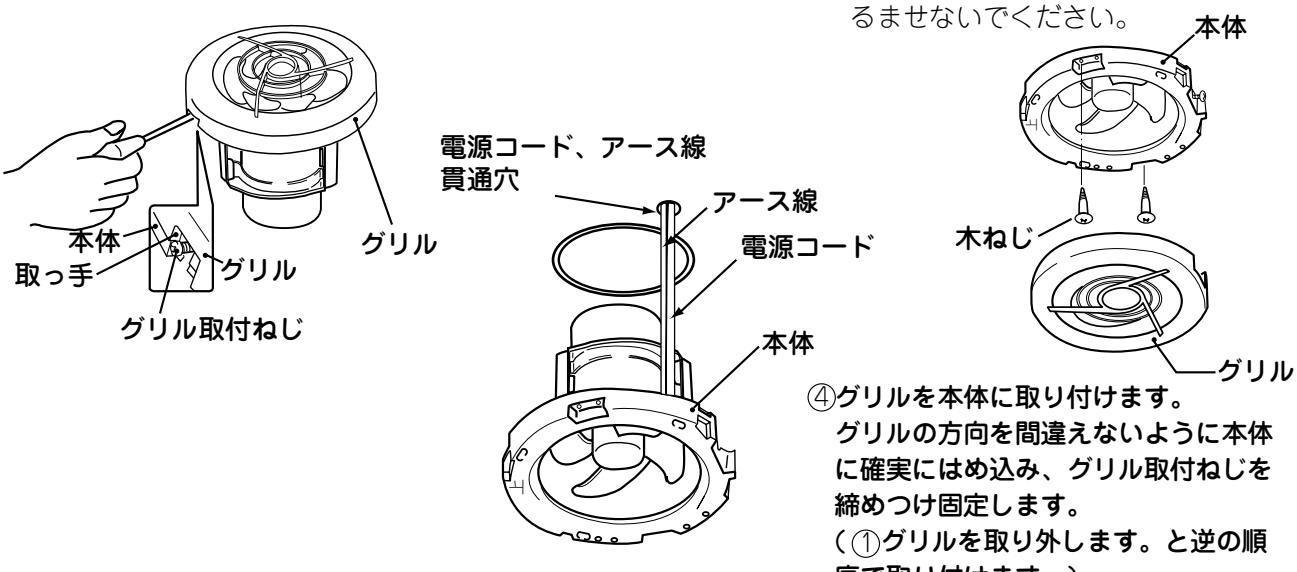
本体の取り付け

①グリルを取り外します。
グリル取付ねじをゆるめ「取っ手」部を手前に引き、取り外します。

②電源コード、アース線を天井面貫通穴に押し込みます。
●電源コード、アース線を一緒に押し込んでください。

③本体を天井面に固定します。
本体をダクトに差し込み、付属の木ねじ(2本、BP-12G-BLは4本)で固定します。

ご注意
● 電源コード、アース線を室内側にたるませないでください。



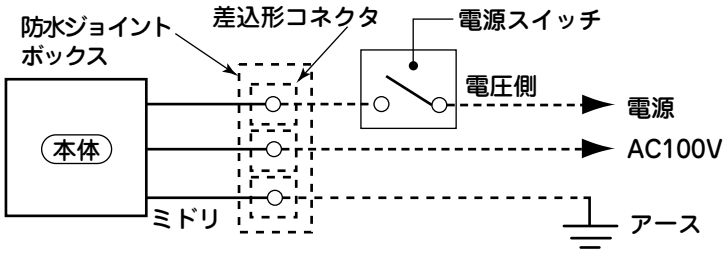
④グリルを本体に取り付けます。
グリルの方向を間違えないように本体に確実にはめ込み、グリル取付ねじを締めつけ固定します。
(①グリルを取り外します。と逆の順序で取り付けます。)

電気配線と試運転

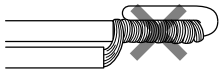
ご注意
- 結線図に従って正しく結線してください。
- 電源コード・アース線が接続できる範囲に接続器を設けてください。
- 必ずアース(D種接地工事)をしてください。
- 水気のある場所に取り付ける場合はアースのほかに漏電遮断器を付けてください。
- アース線をガス管・水道管および電話線・避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。
- スイッチは両切りスイッチを使用してください。片切りスイッチを使用する場合は、必ず電圧側に取り付けてください。
- 結線後、羽根の回転方向を確認してください。

	下側から見たときの回転方向
羽根の回転方向	右回転

■片切りスイッチの場合の結線図



⚠注　意
- 速結端子を接続器として使用する場合は、より線による結線は絶対にしないでください。接触不良となり、発火の原因となります。
- 手より結線は絶対にしないでください。接触不良となり、発火の原因となります。



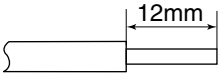
手より結線のイメージ(悪い結線例)

適切な接続例　換気扇からの電源コード(VCTF0.75mm²)と屋内配線(VVFφ1.6)を接続する場合

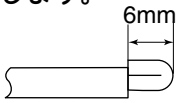
●電源の線種やサイズに適したものを選択し正しく接続してください。

差込形コネクタを使用する場合

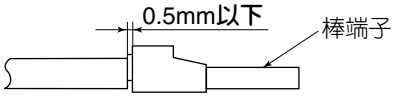
1. 換気扇からの電源コード(VCTF0.75mm²)の先端のむきだし長さを調整します。



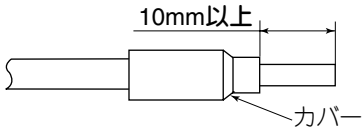
2. 適用断面積内にするため被覆をむいた芯線を折り返します。



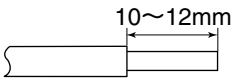
3. 棒端子(WV2500)に芯線を挿入し専用工具(YHT2210)で圧着します。



4. 棒端子にカバーをかぶせます。

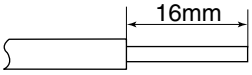


5. 屋内配線のVVFφ1.6の先端の被覆をむきます。

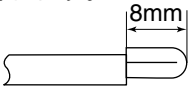


裸圧着直線突合せスリーブを使用する場合

1. 換気扇からの電源コード(VCTF0.75mm²)の先端のむきだし長さを調整します。

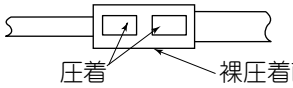


2. 適用断面積内にするため被覆をむいた芯線を折り返します。



3. 屋内配線のVVFφ1.6の先端の被覆をむきます。

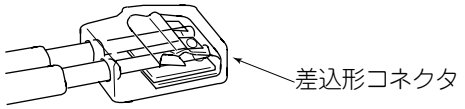
4. 裸圧着直線スリーブ(B2)に各々を挿入し専用工具(NH1)で圧着し接続してください。



5. 圧着作業終了後、裸圧着直線突合せスリーブ部に電気絶縁テープを巻いて絶縁処理を施してください。

取り付けかた(続き)

6. 差込形コネクタ(EC2)に差し込みます。
・棒端子の先端および屋内配線の先端が奥まで入っているか目視で確認後、電線を1本ずつ引っ張り抜けないことを確認します。

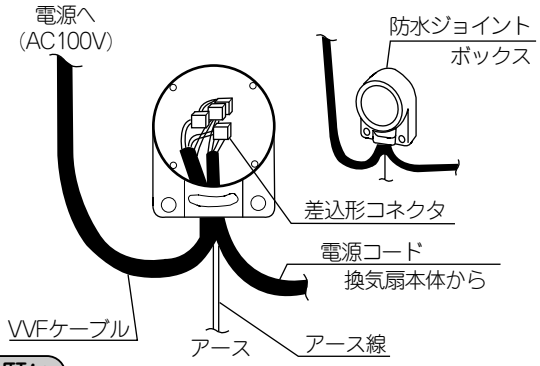


※棒端子(WV2500)は松下電工株式会社製
※専用工具(YHT2210)は日本圧着端子株式会社製
※差込コネクタ(EC2)は未来工業株式会社製

お願い
圧着後のクリンプハイトは、1.8～2.0mmになっていることを確認します。
圧着部の断線や抜けを防止するのに重要です。

※裸圧着スリーブ(B2)は株式会社ニチフ製
※専用工具(NH1)は株式会社ニチフ製

接続作業完了後、接続部を防水ジョイントボックス(WJ4101)に収めて、防水ジョイントボックスを固定してください。



- **防水ジョイントボックスは壁面に木ねじなどで固定してください。**
- **ユニットバスの天井裏で防水ジョイントボックスを固定する場合は、ユニットバス天井裏面への固定はしないでください。**
  固定用木ねじなどが浴室内に飛び出す可能性があります。

※防水ジョイントボックス(WJ4101)は松下電工株式会社製

お願い

電源スイッチ・棒端子・カバー・裸圧着スリーブ・絶縁テープ・差込コネクタ・専用工具および防水ジョイントボックスは製品に含んでおりませんので工事の際にご準備ください。

優良住宅部品(BL)について

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(または刻印など)がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ(http://www.cbl.or.jp/)をご覧ください。(BP-12RF-BL,BP-12G-BL形に適用)

お手入れのしかた

部品の取り外し、取り付けは「各部のなまえと取り扱いかた」をご覧ください。→ 4
約3か月に1度を目安に各部の掃除をしてください。

⚠ 警　告

お手入れの際は必ず電源を切る
● 感電やけがをすることがあります。

⚠ 注　意

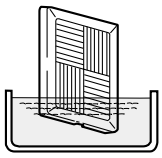
お手入れの際は厚手の手袋を着用する
● 板金の切口、本体の突起および角などでけがをする恐れがあります。

ご注意

- **本体の内部は、外さないでください。**
  発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
- **板金部品などの切り口や本体の突起・角などでけがをしないよう、厚手の手袋を使用してください。**
- **モーターなどの電気部品に水をかけないようにしてください。**
  故障や感電の恐れがあります。
- **アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤・酸性洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油・みがき粉・金属タワシ・研磨剤入りタワシ・亀の子タワシなどは使用しないでください。**
  パネル、グリルなどのプラスチックが変形・変色します。
- **化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。**
- **60℃以上の熱湯は使用しないでください。**
  プラスチックの部品が変形します。

グリル

汚れが目立つようになったら本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いしてください。

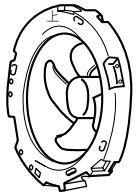


本　体

⚠ 警　告

水につけたり、水をかけたりしない
● ショート・感電の恐れがあります。

中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で汚れをふき取ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう十分ふき取ってください。



本体および羽根は、取り付けたままお手入れをしてください。

⚠ 注　意

羽根や部品の取り付けは確実に行う
● 落下によりけがをする恐れがあります。

お手入れ後部品を取り付けます。
部品を取り付けたあと次の項目について確認をしてください。

- 羽根を手で回転させたとき軽く回転すること。
- グリルが確実に取り付けてあること。
- 異常な振動や騒音がないこと。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください。

症 状	点 検 す る と こ ろ
スイッチを入れても回転しない	●ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。

アフターサービス(必ずお読みください)

補修用性能部品の保有期間

BP-08R1 BP-08G	換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
(BL規格認定品) BP-12RF-BL BP-12G-BL	換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。その後、4年間は補修用同種部品または交換可能な同種部品などを供給します。

● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」(→13)にお問い合わせください。

優良住宅部品(BL)について(BP-12RF-BL, BP-12G-BLのみ)

この換気扇は、(財)ベターリビングより優良住宅部品の認定を受けたもので、BLマーク証紙を貼り付けてあります。優良住宅部品が自宅に据え付けられ引き渡されたのち2年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。
また、下記の特定部分については優良住宅部品が自宅に据え付けられたのち、3年以内にメーカー責任不良が発生した場合は優良住宅部品の保証制度により無償で修理いたします。

特定部品	ファン(羽根)、ケーシング(本体)、グリル (ただし、モーターなど電動機構部品、スイッチを除きます。)

ただし、下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。

1. 住宅用途以外で使用した場合の不具合
2. ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. メーカーが定める施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の不具合
5. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6. ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
7. 火災・爆発など事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波など天変地異または戦争・暴動など破壊行為による不具合
8. 消耗部品の消耗に起因する不具合
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

(→のあとの数字は主な説明のあるページです)

アフターサービス(続き)

修理を依頼されるときは　出張修理

12ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	換気扇
形　　名	
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

★長年ご使用の換気扇の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか?

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。(排気が弱い)
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理に関するご相談はエコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間) 9:00～19:00 (月～土)、9:00～17:30 (日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ

TEL　0120-1454-58

(受付時間) 9:00～17:30(月～金)
土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

アフターサービス(続き)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

⚠	【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります 【設計上の標準使用期間】15年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-2による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz 又は／ 及び 60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	製品の据付説明書による
負荷条件		定格負荷(換気量)	製品の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 a)	
		台　所　2 410 時間	
		居　室　2 193 時間	
		トイレ　2 614 時間	
		浴　室　1 671 時間	
注記 温度20℃、湿度65%は、JIS C 9603の試験状態を参考としている。			
注 a) 常時換気(24 時間連続換気)のものは、8 760 時間/年とする。			

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

ご注意

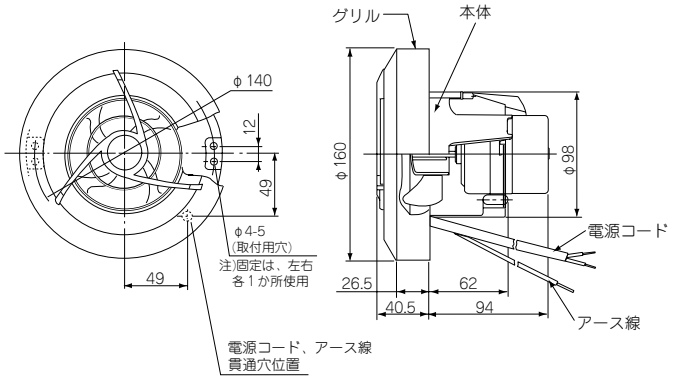
この換気扇は、家庭用です。
業務用としてご使用になると短期間で故障する可能性があります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。
●このようなご使用は、有償修理となります。

システム部材

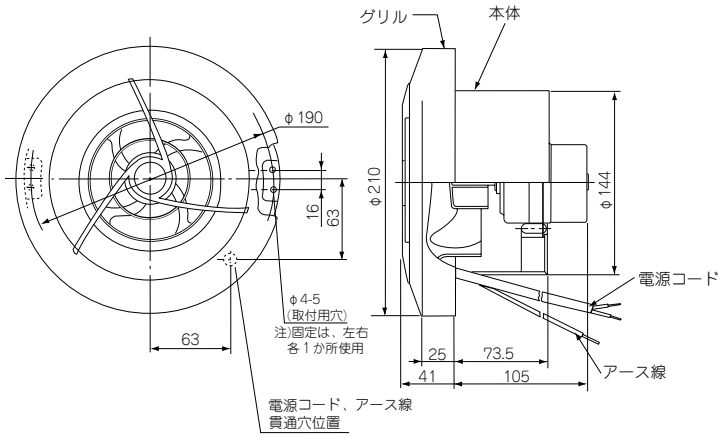
取付方法により必要になります。詳しくはカタログをご覧ください。日立の家電品取扱店でお求めください。

仕様

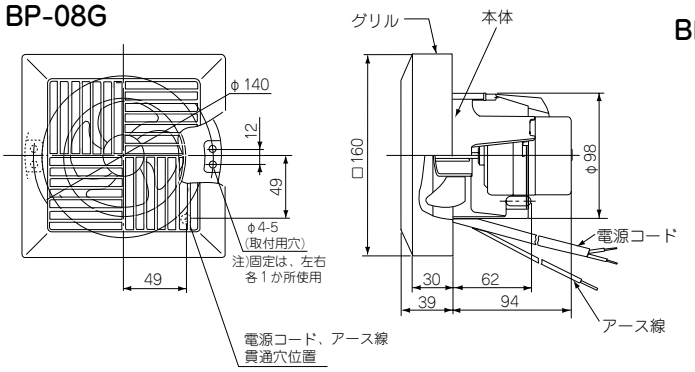
BP-08R1



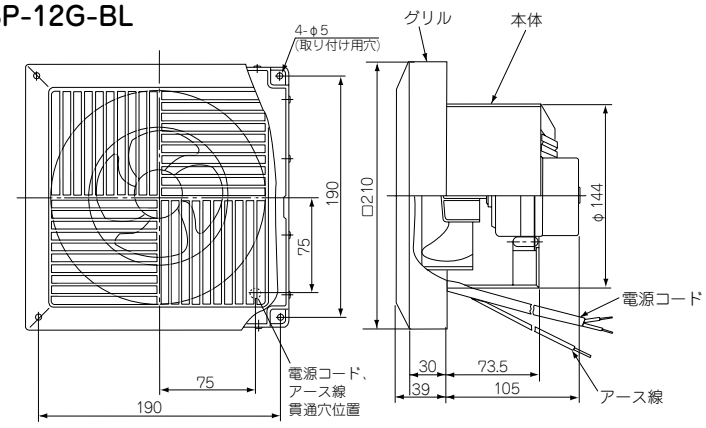
BP-12RF-BL



BP-08G



BP-12G-BL



この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

形名 / ダクト	BP-08R1	BP-08G	BP-12RF-BL (BL規格認定品)	BP-12RF-BL (BL規格認定品)
電　　源	100V50/60Hz			
消費電力(W)	4.0/4.5	4.0/4.5	4.4/5.4	4.4/5.4
風　量(m³/h)	73/88	74/86	154/172	154/172
質　　量(kg)	0.7	0.8	0.9	0.9

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　**電話（　　）　-**

ご購入年月日　　**平成　　年　　月　　日**

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立産機システム
〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地AKSビル
電話(03)4345-6000(代)